

令和5年度 第2回 大田区SDGs推進会議

－ 事務局資料 －

1 自治体SDGs推進評価・調査検討会委員 による現地視察及び意見交換

1 自治体SDGs推進評価・調査検討会委員による現地視察及び意見交換

概要

実施日時

令和5年8月2日(水)

訪問委員 ※敬称略

■ 村上 周三

一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長/
東京大学名誉教授

■ 藤田 壮

東京大学大学院工学系研究科教授

訪問施設

羽田イノベーションシティ



委員の主な発言

■ 村上委員

- 世界ではGAFAのような巨大な情報テックが席卷しているが、その背景にはものづくりがある。大田区のものづくりの蓄積が、情報テックだけではできない部分を埋めている
- 中小企業のものづくりの中に大いなるイノベーションがあり、大田区はそのモデルを作っているということを広めてほしい
- 中小企業の蓄積は、日本のイノベーションの原点であるということを大いに宣伝してほしい

■ 藤田委員

- HICityと空港と海外の繋がりとの展開が、既にいくつかの階層で具体化していることがわかった。自治体SDGsモデル事業の先進例として他の自治体と共有することを期待する
- 大田区ならではの都市近接型の産業を形成し、マーケットの近接性、輸送コストの最小化等など21世紀のものづくり拠点としての強みを内外で共有するに当たっては、PiOPARKのようなところがマーケティングのサテライトになるという期待がある

2 「新産業と匠の技が融合する イノベーションモデル都市」の実現に向けて

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

未来都市における2030年のあるべき姿について

区の特徴

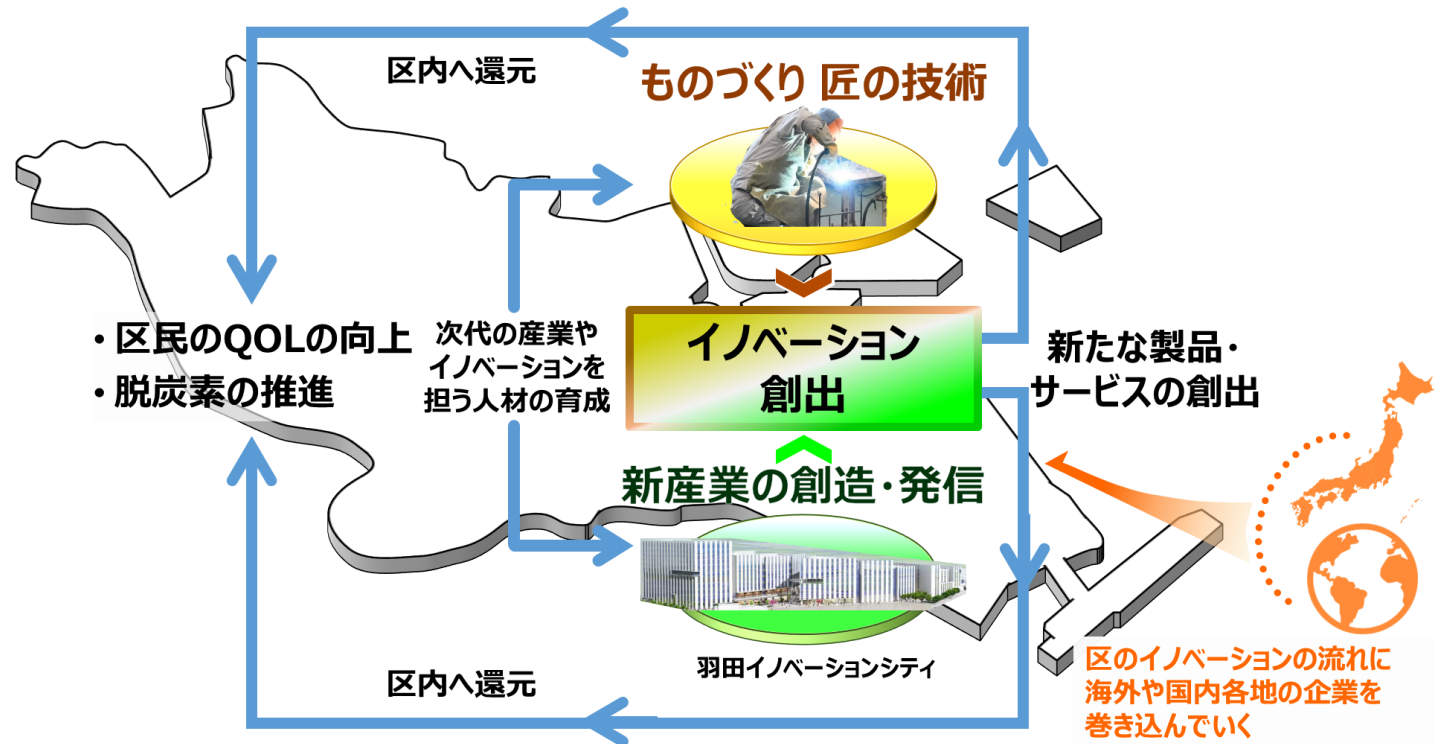
- 高度な加工基盤技術を持つ
中小製造業が集積する国内
有数の「ものづくりのまち」
- 羽田イノベーションシティを
起点に「新産業を創造・発
信するまち」

提案の概要

- 区の特徴でもある上記2つ
の側面を強固に結び付け、
大田区ならではのイノベー
ションを創出
- イノベーションを通じて新
たに生み出される革新的な
技術・サービスにより、区民
の生活の質の向上や環境
問題の解決を実現

2030年のあるべき姿

新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市



未来都市における2030年のあるべき姿について

経済

01 | 区内産業の「稼ぐ力」が向上し、持続可能な成長を続けるまち

- 区内企業の人手不足の解消や生産性の向上により、長年培われてきたものづくりをはじめとする大田区ならではの技術が失われることなく、更に高度な技術へと磨き上げられている
- 羽田イノベーションシティを起点に、国内外の企業の交流や最先端技術の活用・実装が進み、絶えず新たな産業やサービスが生み出されている
- 羽田イノベーションシティから生まれた新たな産業やサービスが、区内各地域で磨き上げられた匠の技と結びつくことで、新たなイノベーションの創出へとつながり、区内産業の「稼ぐ力が向上」している

環境

02 | 環境と産業が調和した持続可能なまち

- 区内企業にとって、環境に配慮した形での設備投資や事業推進が当たり前となっており、環境を犠牲にすることなく区内産業が成長を続けている
- 周辺自治体や民間企業と連携しながら、水素等の利活用を積極的に推進しており、次世代クリーンエネルギーの利活用という点で他都市のモデルとなっている
- 脱炭素や循環型経済(サーキュラーエコノミー)の意識が、行政のみならず区民や民間企業等にも浸透し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組が着実に推進されている

社会

03 | イノベーションの担い手が将来にわたって持続的に生み出されるまち

- 子どもから大人まで、あらゆる世代が多様な学びを享受でき、区内産業やイノベーションの担い手が次々と生み出される環境が整備されている
- 「地域力」を生かした包摂的なサポートにより、出産や子育てに関する不安や負担が解消され、将来にわたってまちの活力(ヒト)を維持していくための確かな基盤が構築されている

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -環境-

環境

- 周辺自治体や民間企業と連携しながら、水素等の利活用を積極的に推進しており、次世代クリーンエネルギーの利活用という点で他都市のモデルとなっている

01 | NEDO事業によるCO2フリー水素利活用 モデル調査 (2022年10月～2023年9月)

概要

- ▶ 官民6者連携により、羽田空港及び周辺地域における水素利活用の調査を実施
- ▶ 大田区は、空港周辺や3島(昭和・京浜・城南)の企業へのアンケート、ヒアリングを通し、羽田空港周辺における水素利活用ポテンシャルを調査

課題

- ▶ 設備やインフラ構築に係る費用負担や制度・規制面の障壁

方向性

- ▶ 実装に向けた課題抽出・対策の継続検討を実施する予定

02 | 特別区長会調査研究機構による水素の利活用 推進研究(2023年4月～2024年3月)

概要

- ▶ 大田区がリーダーとなり、特別区の水素等の利活用推進について調査研究を実施
- ▶ 中央区、世田谷区、江戸川区、東京二十三区清掃一部事務組合の他、東京都がオブザーバーで参加
- ▶ 水素利活用の動向や先進事例の調査を実施し、特別区における水素利活用の普及展開の状況等を整理

課題

- ▶ 水素利活用のさらなる需要創出

方向性

- ▶ 水素利活用に向けた今後の特別区の施策の方向性を報告書としてまとめる予定



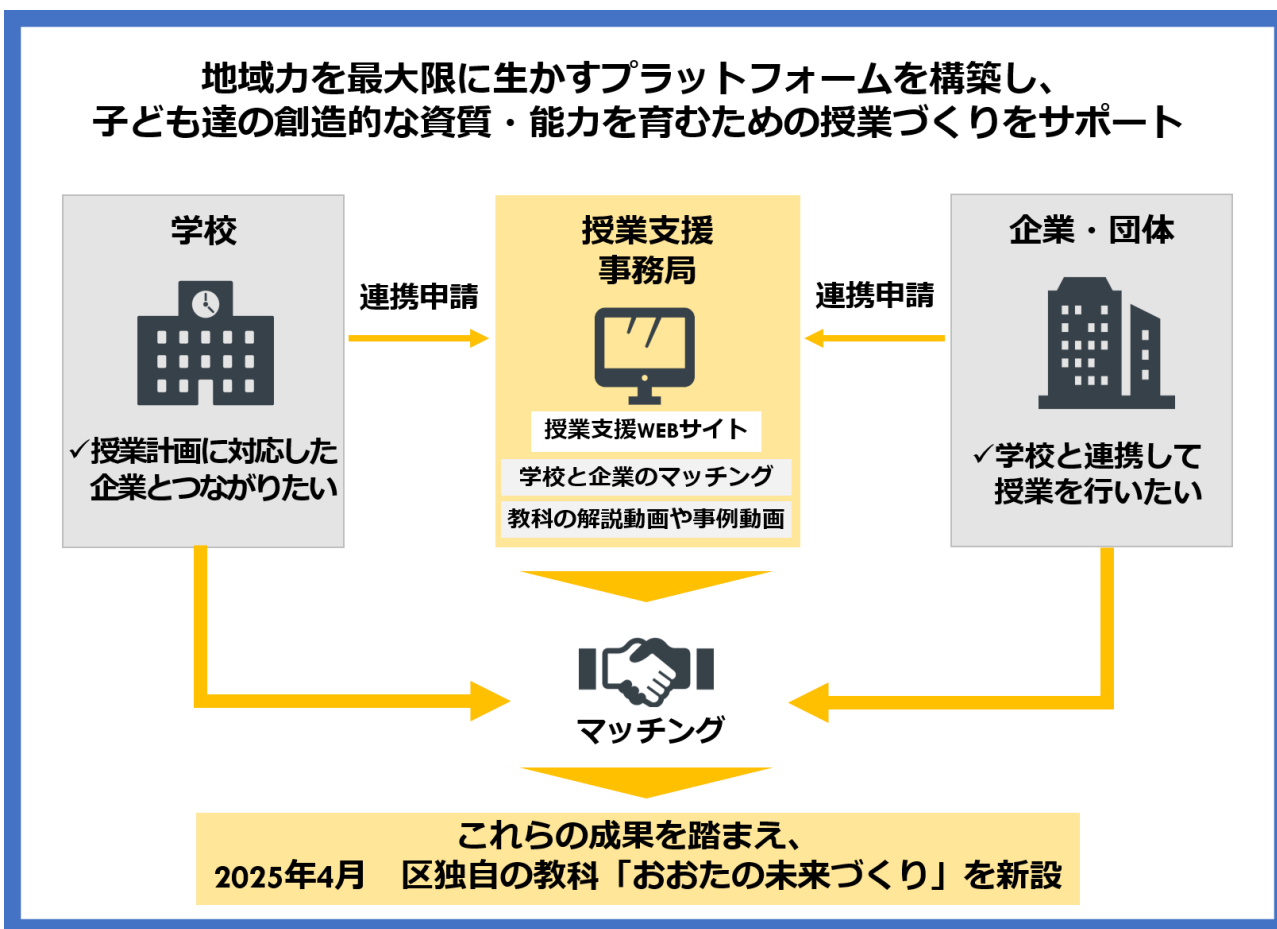
2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -社会-

社会

- 子どもから大人まで、あらゆる世代が多様な学びを享受でき、区内産業やイノベーションの担い手が次々と生み出される環境が整備されている

01 | おおたの未来づくり



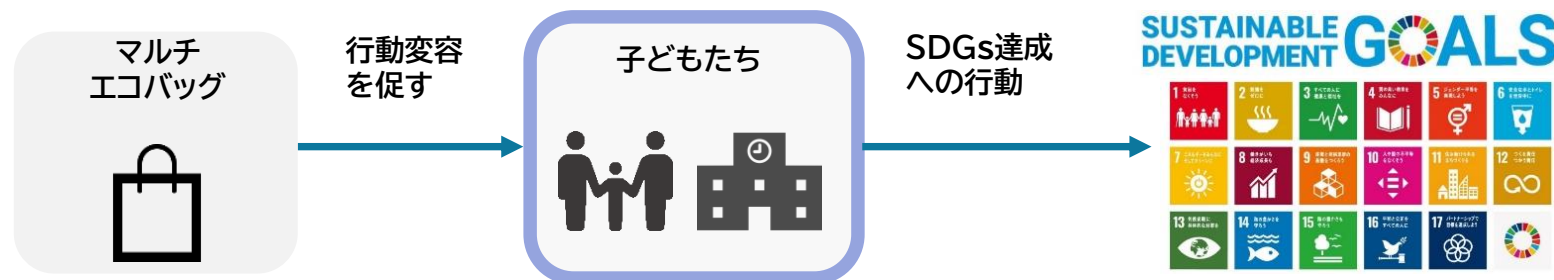
- 現在、研究実践校における学習プログラムの開発とともに、学校と企業・団体をマッチングするサイトや、授業事例を分かりやすくまとめた動画作成などの、授業づくりを支援する仕組みを構築中
- おおたの未来づくりに地域の方々が幅広く参画し、学校・家庭・地域が連携・協働して未来を担う子どもを育てていく

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -社会-

02 | マルチエコバッグの作成

- 小中学生自らが投票に参加し、決定されたロゴマークが施されたエコバッグを児童・生徒に配布することで、次代を担う子ども達のSDGs推進への更なる意識醸成を図る



03 | SDGs教育

- 一部区内小学校において、地球温暖化をテーマとしたトークセッションを実施
- 「大田区中学校生徒会代表者意見交流会」において、「学校でできる、SDGsの取組」について意見交換を実施



2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

経済

- 羽田イノベーションシティから生まれた新たな産業やサービスが、区内各地域で磨き上げられた匠の技と結びつくことで、新たなイノベーションの創出へとつながり、区内産業の「稼ぐ力」が向上している

01 | 羽田イノベーションシティを起点としたスマートシティの取組とオープンイノベーションの創出

羽田イノベーションシティでの実証実験の区内展開

● 電池レスセンサーのがけ崩れ監視への活用

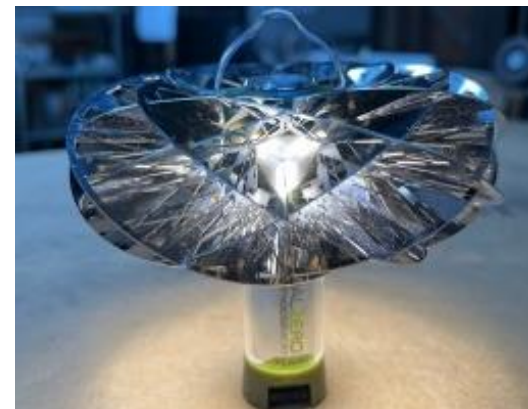
HANEDA×PiO入居企業(NTT東日本/ニフコ)が
HICityで実証実験した電池レスデバイス(センサー)を
活用し、がけ崩れ現場の遠隔監視を試行実施



区内企業の匠の技術を生かしたオープンイノベーション創出

● NEWコラボレーション@PiOPARK

精密板金加工を得意とする区内企業(株)大橋製作所)と
アパレルセレクトショップとがPiOPARKで出会い、
オリジナルのアウトドアギアとして「焚き火台」と
「ランプシェード」を開発・製品化



2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

02 | 大田区公民連携SDGsプラットフォーム参画企業との連携イベントの実施

連携先

(株)三井住友銀行

概要

- 開催日 令和5年12月12日(火)14:45-16:30
- 会 場 羽田イノベーションシティ内PiO PARK
- 主 催 大田区、(株)三井住友銀行
- 内 容 〉 (株)三井住友銀行と連携し、
社会課題解決に向けた公民連携・民民連携を促進するため、
地元企業によるSDGs※リバースピッチを実施
〉 各社の課題は、区内企業の新たな取引機会になる可能性があり、
区内企業の参加やフォローのために産業振興協会も参画予定

※リバースピッチとは

スポンサー企業が事業概要や課題をプレゼンし、スタートアップ企業から提案を募るもの。

03 | 連携協定締結先との新たな産業支援策の研究

連携先

(株)日本政策金融公庫大森支店

経過・当面の予定

- 〉 連携先及び連携先のパートナー企業から自治体における「新たな資金調達支援策」の共同研究提案があった
- 〉 提案では、民間資金を活用してスキームを構築することとし、区は公金支出せずにテーマ設定や資金面以外での支援の役割が求められている

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

04 | 連携協定締結先との新たな中小企業人材確保支援策の試行

連携先

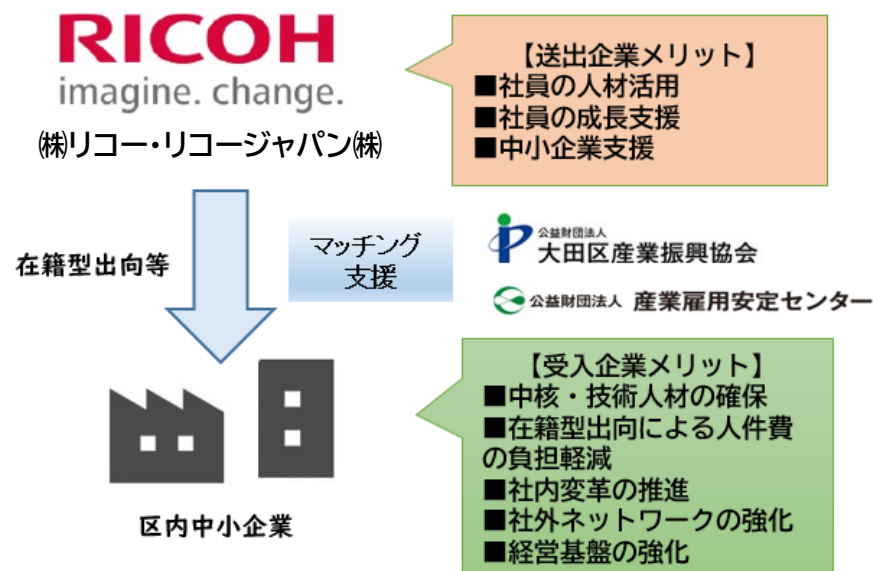
(株)リコー及びリコージャパン(株)

事業の狙いと今後の予定

区内中小企業の人材確保、経営基盤の強化等につなげることを目指し、次年度からモデル事業として実施する

現時点の内容、スキーム等

(株)リコー及びリコージャパン(株)のシニア・現役社員の区内中小企業への在籍型出向等を支援し、人材交流を促進する



05 | さらなる連携強化によるイノベーション促進

- 令和5年9月4日、東京商工会議所大田支部の交流会(ミドルサロン)において、大田区のSDGs推進をテーマとした意見交換を実施
- 産業界と連携し、オールおおたでSDGs達成に向けた取組を強力に推進



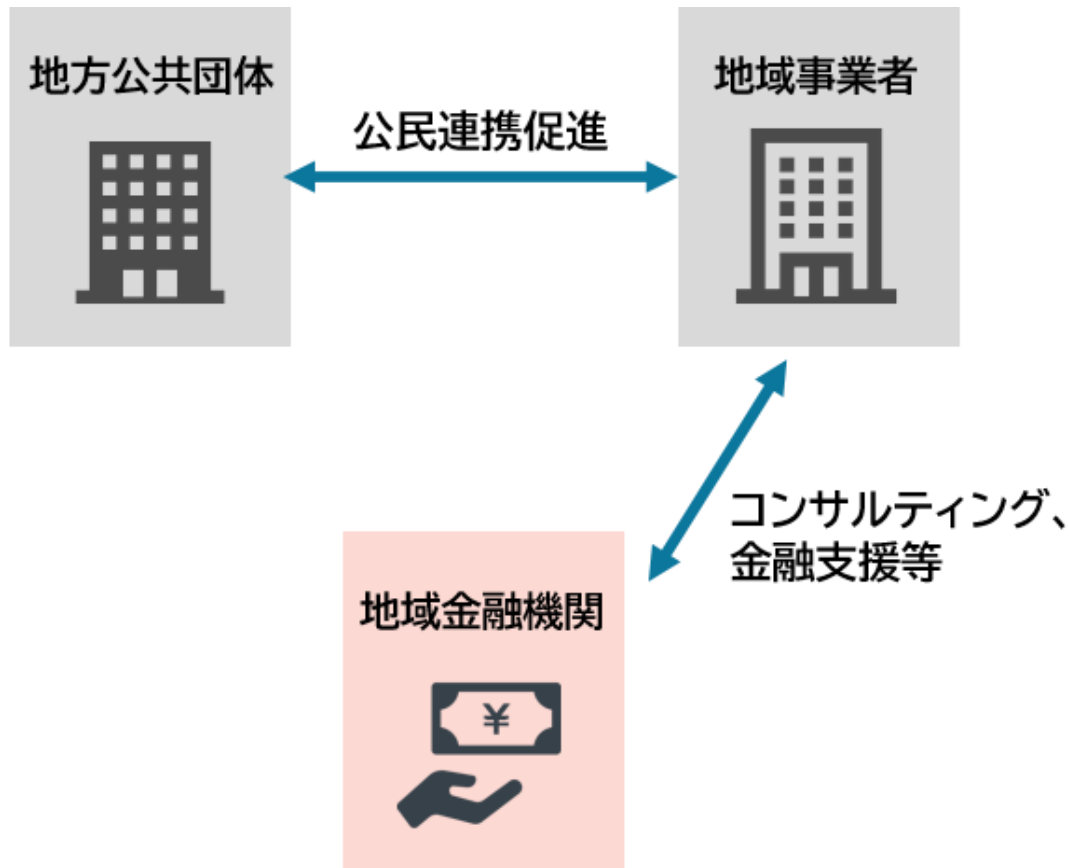
- その他、区と企業また企業同士のさらなる連携強化によりSDGsを促進する取組の一つとして、「SDGs認証制度」の構築も考えられる

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

SDGs認証制度とは

【イメージ図】



- 地方公共団体がSDGsに貢献しようとする地域事業者等を「見える化」することで、**対外的なPR効果**の向上による**事業機会の拡大**や**地域経済の活性化**につなげる
- 「見える化」を通じて、地域の金融機関、大学等様々なステークホルダーとの**連携促進**や企業の**さらなるSDGs推進**につなげる

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

SDGs認証制度の全体像

	宣言	登録	認証
概要	地域事業者等が地方創生SDGsに取り組む意思を宣言する	地域事業者等が地方創生SDGsの取組を表明・自己評価し、登録する	第三者が、地域事業者等の地方創生SDGsの取組を評価し認証する
目的	地方創生SDGsへ取り組んでいる、または今後取組もうとしている地域事業者等の奨励	地方創生SDGsへ取り組んでいる地域事業者等の奨励	地方創生SDGsへ取り組んでいる地域事業者等に対する金融機関等の支援機会の拡大
被認証主体 (地域事業者等) の要件	地方創生SDGsに取り組む意思及び方針がSDGsの17のゴールと関連付けて明確化されていること		
	SDGsの169のターゲットに関連した目標及び取組計画が示されていること		
	目標に向かって取組を推進する能力・体制が整っており、それを第三者が確認できていること		

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

認証を受けた地域事業者等のメリットの例

メリットの例		宣言	登録	認証
金融機関からの支援	経営アドバイス強化	✓	✓	✓
	投融資の拡大		✓	✓
	優遇策の提供(低金利融資等)		✓	✓
地方公共団体からの支援	事業及び取組の認知度向上	✓	✓	✓
	SDGsに関する知見の深化	✓	✓	✓
	地方公共団体主催のイベント等での優遇	✓	✓	✓
	ビジネスマッチング強化		✓	✓
	公共調達における優遇		✓	✓
	補助金交付における優遇		✓	✓
地域事業者等の事業運営	顧客・取引先・社会に対する事業及び取組の社会的価値(ブランド等)の発信強化	✓	✓	✓
	SDGsに対する社員の認知度向上	✓	✓	✓
	事業の方向性・社会的価値の共通認識明確化		✓	✓
	目標設定・組織体制の明確化を通じた、事業・取組の運営精度向上			✓

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

他自治体におけるSDGs認証制度の例

	認証の主なインセンティブ	認証基準の概要
神奈川県 横浜市 横浜市SDGs 認証制度 "Y-SDGs"	「横浜市総合評価落札方式」の評価項目に加 点 - 利子補給金制度を活用できる場合がある 「SDGsよこはま資金」の対象となる	環境、社会、ガバナンス及び地域の4つの 分野、30項目で評価を実施し、 各評価項目における取組状況によって、 3つの区分で認証する
東京都 北区 東京都北区 SDGs推進企業 認証制度	- 制度融資による低利な融資が利用できる - 施工能力審査型総合評価方式における 評価項目の対象となる	70項目のSDGsチェックリストの項目に 70%以上該当すること - SDGs達成目標としてSDGsの趣旨に資す る自社の具体的目標を3つ以上設定すること
愛知県 豊田市 豊田市SDGs 認証制度	- 総合評価落札方式における入札加点 「カーボンニュートラル省エネ生産設備導入 促進補助金」の補助率・補助上限額の上乗せ 「信用保証料補助制度」の補助率の上乗せ	- 環境、社会、ガバナンス、地域貢献の4つの 分野、約80項目について評価する - 評価の高い順にゴールド、シルバー、 ブロンズの3つの区分で認証する

2 『新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市』の実現に向けて

三側面(環境・社会・経済)の取組 -経済-

認証基準の一例 (東京都北区SDGs推進企業認証制度における認証基準から抜粋)

項目例	ゴール	項目例	ゴール
事業者としての経営理念、経営方針を策定して従業員や関係者に共有する機会を有している		公民連携に向けて、地域の多様なステークホルダーとの関係性構築に向けた取組を行っている	 
従業員の適切な健康状態保持のための機会を提供している	 	教育機関との連携や協定を具体的に行っている	  
ハラスメントに対する理解、認識を高めるための教育、指導を従業員や関係者に対して適宜で行っている	   	地元の地域金融機関の口座開設、取引、融資利用などを行っている	 
利害関係者(ステークホルダー)との適切な関係性を保つ経営を行っている	  	節電や節水に取り組んだ経営を実施している	  
採用に関しては年齢、性別、国籍、障害などに関わらず公平な審査及び採用を行っている	  	ペーパーレスの実現に向けたDXの推進や紙使用	  
区民の雇用拡大に取り組んでいる	 	3Rの取組を行っている	  
事業における仕入れや調達において、区内の事業者からの調達を優先している	   	区の環境保全活動に参画している	     
電子化やオンライン化などのインフラの整備を進めることで業務効率化と業務量軽減を実現している	  	温室効果ガスの排出削減や緑化推進に取り組んでいる	  
変化するニーズや社会に対応するため、新たな製品・サービスの開発、提供に向けた検討や推進を行っている	  	食品ロスの削減に関する取組を行っている	  
区における地域課題解決、地域活性化につながる経営を行っている	 	区の歴史、文化、魅力を把握して発信している	

意見交換のポイント

1. SDGs認証制度を構築するに当たって、 どのようなインセンティブ・認証基準を検討すべきか。

- インセンティブの一例

- › 総合評価落札方式における評価項目の加点
- › 融資面での優遇(利子補給の拡充)

- 認証基準の一例

- › 区における地域課題解決、地域活性化につながる経営を行っている
- › 教育機関との連携や協定を具体的に行っている
- › 温室効果ガスの排出削減や緑化推進に取り組んでいる

2. 上記認証制度の他、未来都市提案書のあるべき姿の実現に 向けて、どのような取組が重要となるか。